

令和2年度（令和元年度活動分）

教育委員会の点検・評価報告書

川内村教育委員会

令和2年8月

1、教育委員会の点検・評価について

(1) 制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任の果たすため、同法第26条によって、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、点検・評価を行うこととし、その結果については、報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければなりません。

(2) 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について、点検・評価の客観性を確保するもので、活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関して学識経験を有する者の意見を徴する機会を設けることなどが必要となります。

なお、教育に関し学識経験を有する者については、必ずしも専門家というものではなく、客観的な評価としての教育に関し公平な意見を述べることができる者であることが求められます。

2. 点検評価の実施方法

川内村教育委員会点検・評価委員会設置要綱に基づき、以下の通り実施します。

(1) 目 的

効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

(2) 実施方法

ア. 点検・評価の対象は、毎年度策定する「重点施策」とします。

重点施策に関する事務事業について、点検評価シートを作成します。

点検評価においては、当該年度の施策・事業を検証し、課題や今後の方向性などを表します。

イ. 点検評価委員に対し、重点事業の評価内容を担当者から説明し、委員より意見を求めることとします。

ウ. 点検評価委員からの意見に基づき点検・評価報告書をまとめ、教育委員会へ審議事項として提出します。

点検・評価委員

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	谷 信 孝	うつくしまふくしま未来支援センター
委員長職務代理	志賀 志津	前川内村教育委員
委 員	横田 律恵	川内村社会教育委員

点検評価の経緯

年 月	会 議 等	内 容
令和2年7月	事務事業評価	評価シートを作成し各係において事務事業評価を行う
令和2年7月30日	第1回評価委員会	各事務事業の説明 委員より質問・意見
令和2年8月8日～18日	稟 議	委員より質問・意見 とりまとめ
令和2年8月26日	教育委員会定例会	点検評価書の取りまとめ
令和2年8月	議 会	点検評価書類を議会提出
令和2年9月	ホームページ公開	点検評価書類

報告事項について

1. 教育委員会の活動状況

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

- (1) 教育委員会の定数
- (2) 教育委員の研修会参加状況
- (3) 教育委員会の会議の開催状況
- (4) 教育委員会の会議の公開状況
- (5) 議案の審議状況
- (6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況
- (7) 情報の提供状況
- (8) 教育委員会事務局等の体制
- (9) 生涯学習講座実績

2. 点検・評価の結果

次の事項について議会に報告するとともに、一般に公開します。

川内村教育委員会重点施策

- 1. 教育行政の推進
- 2. 就学前保育・教育の充実
- 3. 学校教育の充実
- 4. 生涯学習の推進
- 5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成
- 6. 芸術文化活動の推進
- 7. 地域・家庭等連携
- 8. 生涯スポーツの推進

令和2年度報告書内容(令和元年度活動分)

教育委員会の活動状況

1) 教育委員会の定数

単位：人

人数	性別		40代		50代		60代	
5(1)	男	女	男	女	男	女	男	女
	3(0)	2(1)	0(0)	0(0)	1(0)	2(1)	2(0)	0(0)

※()は内数で、保護者である委員

2) 教育委員の研修参加状況

主催別	全国	東北六県	県	浜通り
教育委員	1	1	1	1
教育長	3	1	1	0

3) 教育委員会の会議の開催状況

	定例会	臨時会
開催回数	12回	1回

4) 教育委員会の会議の公開状況

傍聴者数	0人
傍聴者が1人以上の会議の回数	0回

5) 議案の審議状況

開催月	開催形式	議案等番号	件名
4月	定例会	議案第20号	平成31年度川内村奨学資金の奨学生決定に係る承認について
5月	定例会	議案第21号	専決処分の承認を求めることについて(予算補正)
6月	定例会	議案第22号	専決処分の承認を求めることについて(予算補正)
		議案第23号	専決処分の承認を求めることについて(物品購入契約締結)
		議案第24号	就学援助費の支給児童生徒の承認について
		議案第25号	川内村教員委員会点検評価委員会委員の委嘱について
7月	定例会	議案第26号	専決処分の承認を求めることについて(工事請負契約締結)
		議案第27号	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について
		議案第28号	令和2年度使用中学校教科用図書の採択について
		議案第29号	令和2年度使用学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について

開催月	開催形式	議案等番号	件 名
8月	定例会	議案第30号	平成30年度川内村教育委員会自己点検評価について
9月	定例会	議案第31号	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度決算書）
		議案第32号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第33号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約締結）
		議案第34号	川内村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める規則の全部改正について
10月	定例会	議案無し	
11月	定例会	議案第35号	専決処分の承認について（予算補正）
		議案第36号	かわうち草野心平記念館条例の全部改正について
		議案第37号	川内村室内型村民プール指定管理者選定審議会規則の全部改正について
12月	定例会	議案第38号	専決処分の承認を求めることについて（予算補正）
		議案第39号	令和元年度川内村奨学資金の奨学生（追加申請者）の決定に係る承認について
1月	定例会	議案第1号	令和2年度 川内小・中学校新入学児童生徒への通知について
2月	定例会	議案第2号	かわうち草野心平記念館規則の制定について
		議案第3号	令和2年度川内村教育委員会基本方針の策定について
		議案第4号	令和2年川内村教育委員会重点施策の策定について
3月	臨時会	議案第5号	教職員異動に伴う内申について
3月	定例会	議案第6号	専決事項の承認について（特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）
		議案第7号	専決事項の承認について（川内村社会教育指導員設置等に関する条例の一部改正）
		議案第8号	専決事項の承認について（予算補正）
		議案第9号	専決事項の承認について（予算補正）
		議案第10号	令和2年教職員人事異動に伴う承認について
		議案第11号	令和2年教育委員会職員人事異動に伴う承認について

6) 教育委員の学校・社会教育施設の訪問状況

施設名	かわうち保育園	川内小学校	川内中学校	阿武隈民芸館
実施日	保育参観 11月	授業参観 11月 学習発表会 10月	授業参観 11月 清流際 10月	実施なし

※定例会開催日に合わせて訪問を実施

※訪問内容

- (1) 教育長による教職員への訓示 (2) 保育参観、授業参観 (3) 施設の管理状況視察
(4) 所属長との懇談

7) 情報提供の状況

月	提 供 媒 体
5月発行	3月13日開催、川内中学校卒業式(10名の卒業者) 3月22日開催、川内小学校卒業式(9名の卒業者) 3月23日開催、かわうち保育園卒園式(6名の卒園児) 3月16日開催、ピアノ教室発表会 4月6日開催、かわうち保育園入園式(36名の全園児) 4月8日開催、川内小学校(8名入学)・川内中学校入学式(9名入学) 5月23日開催、中央学級 教養講座「40年ぶりの民法改正で相続が変わる」 5月25日開催、小学校・保育園合同大運動会開催のお知らせ 平成31年度教育委員会(保育士含む)、小学校、中学校人事異動による職員紹介 川内村地域学校協働活動推進員への委嘱状交付 川内小学校活動レポート 天山文庫だより 第4回川内の郷かえるマラソン報告の案内 もりたろうプールの教室利用等の案内 川内中学校「川中だより」発行(中学校自主発行) 川内小学校「沼畑」発行(小学校自主発行)
6月発行	天山文庫だより 児童手当支給対象者への現況届け出について 7月14日開催、第54回天山祭り開催のお知らせ 川内小学校活動レポート もりたろうプール教職員向け水泳指導法講習会実施 川内中学校「川中だより」発行(中学校自主発行) 川内小学校「沼畑」発行(小学校自主発行)
7月発行	4月20日開催、第11回村民ゴルフ大会の開催報告 5月25日開催、川内中学校・川内小学校・かわうち保育園合同運動会 5月31日開催、川内小学校3・4年生、田植え体験 7月14日開催、第54回天山祭り開催のお知らせ 7月23日開催、第2回中央学級の開催案内(カーリンコン交流会) 8月13日～14日開催、第72回夏季野球大会参加チーム募集 8月15日開催、令和元年度成人式の案内 第4回川内の郷かえるマラソン実績報告 川内小学校活動レポート 天山文庫だより

	もりたろうプールの教室利用等の案内 義務教育学校「川内小中学園」の開校教育方針の周知 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
8月発行	6月7日開催、かわうち保育園の春の遠足（いわなの郷）報告 7月5日開催、かわうち保育園七夕会の報告 7月14日開催、第54回天山祭りの実施報告 8月13日～14日開催、第72回夏季野球大会の対戦組合せ周知 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 義務教育学校「川内小中学園」の開校教育方針の周知 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
9月発行	7月4日ドイツ赤十字社社長及び事務総長、なかよし館と天山文庫訪問 7月9日開催、川内中学校にて人権教室を開催 7月23日開催、第2回中央学級（カーリンコン交流会）の開催報告 8月2日開催、かわうち保育園の夏祭り報告 8月7日開催、かわうち保育園収穫野菜での試食会報告 8月13日～14日開催、第72回夏季野球大会の対戦結果の報告 8月15日開催、令和元年度成人式の開催内容報告 9月25日開催、第3回中央学級の案内 第40回東北中学校陸上競技大会への参加結果報告 第13回市町村対抗福島県軟式野球大会への出場案内 川内小学校にて人権の花運動の実施報告 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 義務教育学校「川内小中学園」の開校教育方針の周知 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
10月発行	9月1日開催、県民スポーツ相双地域大会の結果報告 10月12日開催、第6回市町村対抗福島県ソフトボール大会の出場案内 10月23日開催、第4回中央学級の開催案内 義務教育学校の「校章のデザイン」募集の案内 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 義務教育学校「川内小中学園」の開校教育方針の周知
	9月7日開催第13回市町村対抗福島県軟式野球大会への出場結果報告

11月発行	9月27日開催、かわうち保育園の秋の遠足（道の駅 よつくら港） 9月25日開催、秋の全国交通安全運動出動式が川内小学校にて開催 11月17日開催、第31回ふくしま駅伝出場選手(川内村代表選手)紹介 11月20日開催、移動図書館「あづま号」巡回日程のお知らせ 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 太極拳教室への参加募集 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
12月発行	10月19日開催、川内小学校・保育園合同学習発表会の報告 10月23日開催、中央学級「心を豊かにする笑いという魔法」講座の報告 10月26日開催、川内中学校清流祭の報告 10月29日開催、かわうち保育園保育交流 あいサポ保育園(郡山市)との交流会実施報告 11月13日開催、かわうち保育園幼年消防クラブ「防火パレード」の実施報告 11月15日開催、かわうち保育園児(にじ組)、七五三お宮参拝 かわうち保育園 食育事業「野菜収穫」の報告 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 義務教育学校「川内小中学園」の開校に向けた取組み状況報告 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
1月発行	11月17日開催、第31回ふくしま駅伝大会 希望ふくしまチーム(村代表選手)結果報告 11月22日開催、かわうち保育園ミニ発表会(保育参観)報告 12月3日開催、かわうち保育園児食育活動(トン汁づくり)報告 12月10日・11日開催、かわうち保育園児ディサービス訪問の報告 2月16日開催、第16回健康づくりソフトバレーボール大会参加チーム募集 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
2月発行	12月17日開催、かわうち保育園クリスマス会の実施報告 12月26日開催、かわうち保育園もちつき会の実施報告 1月10日開催、かわうち保育園児による旧正月行事「団子さし」実演報告 はやぶさスポーツ少年団、再結成、活動再開報告

	川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 川内村奨学資金貸与制度のお知らせ 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
3月発行	1月26日開催、下川内「地藏院多寶寺」にて文化財防火デー防火訓練実施報告 2月3日開催、かわうち保育園「節分豆まき」の実施 2月4日開催、かわうち保育園「ふれあい消防」の実施活動報告 2月7日開催、かわうち保育園「食べ残し勉強会」の実施報告 3月13日開催、第6回中央学級開催のお知らせ 川内小学校活動レポート 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 「阿武隈民芸館」から「かわうち草野心平記念館」への施設名称変更のお知らせ 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）
4月発行	2月16日開催、第15回健康づくりソフトバレーボール大会結果報告 2月19日開催、小学生による新設保育園舎の上棟式体験 3月3日開催、かわうち保育園「ひなまつり」実施報告 5月16日開催、第12回村民ゴルフ大会参加者の募集案内 天山文庫だより もりたろうプールの教室利用等の案内 教職員人事異動のお知らせ 川内中学校「川中だより」発行（中学校自主発行） 川内小学校「沼畑」発行（小学校自主発行）

8) 教育委員会事務局等の体制

職 員 数		常 勤	臨 時	
			嘱 託	通 年
教 育 課		15	4	1
内 訳	教育総務係	3	0	0
	生涯学習係	3	2	0
	かわうち保育園	7	0	1
	川内小学校	1	1	0
	川内中学校	1	1	0

※県費負担教諭等を除く

9) 生涯学習講座実績

中央学級

実 施 日	講座の種類	講 座 内 容	講 師 等
5月23日	開講式・教養講座	演題「40年ぶりの民法改正で相続が変わる」	司法書士 庄司 遼
7月23日	健康講座	カーリンコンスポーツ交流会	小学生、老人会、婦人会
9月25日	健康講座	演題「薬の正しい使い方」	薬剤師
10月23日	健康講座	「心を豊かにする笑いという魔法」講座	百笑溢喜
3月13日	閉校式・教養講座	アコーディオン演奏	パフォーマーKEIKO

その他教室及び講座（生涯スポーツ活動含む）

実 施 日	講 座 名		場 所
4月20日	村民交流健康づくり	村民ゴルフ大会(47名参加)	白 河 市
2月16日	村民交流健康づくり	ソフトバレーボール大会(14チーム参加)	村民体育センター

令和元年度 川内村教育委員会重点施策に関する事務事業評価一覧

番号	重点施策名	事務事業	評価	評価担当係
1	教育行政の推進	効果的な教育行政の推進	3	教育総務係
		教育予算の確保と執行の適正化	3	教育総務係
		教育施設・設備の整備充実	4	教育総務係
		教育備品の充実	4	教育総務係
2	就学前保育・教育の充実	保育・教育の充実	4	かわうち保育園
3	学校教育の充実	教育内容・方法の充実	4	教育総務係
		変化に対応した教育を充実	3	教育総務係
		児童・生徒指導の充実	3	教育総務係
		教職員の確保と資質の向上	3	教育総務係
		養護教育の充実	3	教育総務係
4	生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実	2	生涯学習係
		生涯学習の普及啓発	2	生涯学習係
		生涯学習機会の拡充	1	生涯学習係
5	社会教育の推進と健全な青少年の育成	社会教育活動の充実	2	生涯学習係
		社会教育推進体制の充実	3	生涯学習係
		社会教育施設の整備	3	生涯学習係
		家庭教育の充実	3	生涯学習係
6	芸術文化活動の推進	芸術文化活動の促進	3	生涯学習係
		郷土芸能、文化伝承活動の推進	3	生涯学習係
7	地域・家庭等連携		3	生涯学習係
8	生涯スポーツの推進	スポーツの振興	3	生涯学習係
		健康づくりの推進	3	生涯学習係
		小中学校特設スポーツクラブの推進	3	生涯学習係
計	総評価		3	

※評価 : 4 十分達成 3 ほぼ達成 2 やや不十分 1 不十分

自己点検・評価シート

【1-(1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1. 教育行政の推進		(1) 効果的な教育行政の推進	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○総合教育会議の運営		☆総合教育会議（事務委任）	④・3・2・1
○教育委員会会議の運営		☆定例会（月1回） ☆臨時会（随時） ☆村内小中学校訪問 ☆研修視察	4・③・2・1
○教育機関相互の連携・協力		☆教育事務所指導訪問 ☆教育事務所管理訪問 ☆村内校長・教頭会（月1回） ☆村内小中教頭会議（随時） ☆村内小中事務担当者会議（随時）	④・3・2・1
○他町村との協力		☆教育長会議 ☆教育委員会連絡協議会 ☆双葉郡教育復興ビジョン推進協議会	④・3・2・1
○教育特区		☆学校審議会の開催 ☆認可校への指導・助言	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成果と課題	平成 28 年度より総合教育会議を設置し、村長と教育環境の整備などについて協議を実施しており、令和元年度においては「教育大綱」を制定した。		
	教育委員会における会議等の運営については、月1回の定例会と臨時会議の開催、研修会への参加を実施した。学校訪問については、こども園、小・中学校とも1つであることから、随時校内活動などの確認を行っている。		
成果と課題	教育機関連携協力として、教育事務所の指導や管理訪問を受けて教育の体制、運営等の改善を行うとともに、定期的な学校管理職との打ち合わせを行い、適宜指導助言を行っている。		
	他町村との協力については、教育長会議が随時開催され情報交換を行っている。併せて震災後から双葉郡教育復興ビジョン推進協議会も開催され、学校連携と運営に関して、意見交換などを行っている。		
成果と課題	教育特区認可校である株式会社立大智学園高校については、学校審議会を再開し、学校の経営評価及び校舎建設・スクーリングを再開している。また、認定区域内での教育活動の再開を要請し、村内での水稻の作付・収穫等の体験活動の一部再開している。		

【1－(2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1. 教育行政の推進		(2) 教育予算の確保と執行の適正化	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○教育予算の確保		☆教育施設・整備・備品の現状把握に努め 教育予算を確保する。	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	予算計上に当たっては、学校側と打合せを重ね、現場の要望や実情を把握し、より効果の上がる予算編成に心掛け、教育環境の整備に向けた必要な予算の確保に努めた。学校運営のためのハード事業と同時に教育体制の見直しや児童生徒のケア等のソフト面での事業も行った。		3
	また、令和2年度から教育環境を小中学校合同にて中学校校舎にて実施するための環境づくりの予算確保と事業執行を行った。		
	新年度の教育課程の決定から予算要望までの期間が短く、学校側の負担が大きいことから、協議の場を早めに設け予算協議を進めた。		

【1－(3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
1. 教育行政の推進		(3) 教育施設・設備の整備充実	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○教育環境等の整備		☆義務教育学校と認定こども園の整備、 教育施設の集約化と複合化 ☆各種備品購入及び教育環境整備の促進	④・3・2・1
○校舎等の改修整備		☆改修・整備工事の遂行	④・3・2・1
○教育施設の保守、管理委託		☆学校・プール等保守・管理等の専門業者 への委託	④・3・2・1
○工事に係る事故防止の徹底		☆諸工事に伴う事故防止	④・3・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	修繕や改修が必要なものについては、学校からの報告要望を受け、迅速な対応を行った。		4
	小・中学校の校舎及び各種設備等に係る保守管理面では、年度当初又は適宜に事業者を選定し委託契約等を締結し管理業務を行った。また、令和3年度に開校する義務教育学校を整備するための大規模な校舎建築・改築工事等を行っており、計画どおりの事業進捗のための管理業務を実施した。		
	さらに校庭機能等を含めた外構工事を実施するために必要な外構整備設計業務にも手掛けた。また、令和2年度から小学校機能を中学校校舎に移すために、中学校校舎及び給食室等の改修改築を行い、令和2年度の教育環境の整備を図る。令和元年度末には小学校から中学校への引っ越しも行った。		

【1－(4)】

重点施策名		事務事業
1. 教育行政の推進		(4) 教育備品の充実
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○教育備品、管理備品の充実	☆備品の把握と予算の確保 ☆必要教材・学校図書の購入	④・3・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	教材や備品等の購入に当たっては、小中学校と緊密な連絡により、出来るだけ適切な時期に導入できるよう事業執行を図るための予算確保や教育課程へ支障の出ないように迅速な事務処理に努めた。	4

【2－(1)】

重点施策名		事務事業
2. 就学前保育・教育の充実		(1) 保育教育の充実
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○保育教育指導の充実	☆豊かな感性を育む ☆思いやりの心を育む ☆就学前の基礎学習の指導	④・3・2・1
○社会性や基本的生活習慣の指導の充実	☆友達や仲間を大切にすることを育む ☆基本的生活習慣の指導	④・3・2・1
○小学校との連携	☆運動会、学習発表会に参加 ☆幼児保育家庭と小1教育課程の連携	④・3・2・1
総合評価		4・3・2・1
成果と課題	保育を実施するにあたって、保育理念、保育目標などの基本的な方向を明文化した「保育課程」を定め実施している。また、クラスごとに年間計画、月別計画及び個別計画(3歳未満児)を策定し、園児一人ひとりの発育・発達に合わせ保育内容の充実に努めている。 課題としては、保護者の就労と子育ての両立等を支援するために、保護者の生活状況に配慮するとともに、常に子供の養育の尊重を念頭におき、家庭との連携を密にし・子育てに協力していく必要がある。さらに、3歳未満児や0歳児の入園が増えており、安心して預けることができ、ゆとりある保育と教育の充実を図るために保育士配置基準を満たした余裕ある保育士の確保が必要となっている。 また、令和3年度から取組む幼保連携型保育園整備のため、小学校敷地内に新しい園舎建設を進めており、令和2年度の完成をみることとなっている。このことにより、より一層の学校機関との連携を図ることができるものと思われる。 今年度においても、保育園と学校機関との合同運動会や学習発表会を行うなど、園児が学校環境にふれ合う機会を設定し取組みを行った。	4

重点施策名	事務事業	
3. 学校教育の充実	(1) 教育内容・方法の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価
○教育課程の改善充実 ・教育課程の改善 ・重点目標を踏まえた教育課程の編成、実施 ・重点目標具現の筋道の明確化	☆学習要領に基づく9年間の教育課程編成と幼児保育課程との連携 ☆指導の重点化 ☆教育目標から重点目標を焦点化し、実践・評価して具現に努める ☆小学校：身に付けた力を活かし、進んで学習する子ども ☆中学校：互いに認め合い協働できる生徒	④・3・2・1
○児童生徒の学力向上 ・少人数の特性を生かして基礎的、基本的事項と思考力、判断力、表現力の定着を図る ・児童生徒の実態を的確に把握して、適切な学習指導の推進 ・基本的な生活習慣及び望ましい人間関係の育成 ・民間を活用した学力向上の推進 ・外国語・異文化体験事業の推進 ・コミュニケーション能力の向上	☆教材の精選、重点化を進める ☆学力テストを実施し、指導方策を明らかにする。 ☆ICTを活用した学力向上 ☆実践の場の設定と指導の充実を図る ☆道徳的実践の習慣化を図る ☆かわうち興学塾の実施 ☆標準学力調査の実施と評価 ☆外国語、異文化体験事業の実施 ☆他地域との交流事業の実施	4・③・2・1
○道徳教育の充実 ・道徳的実践力の高揚	☆自主的、実践的な活動を援助し社会性を育てる	4・③・2・1
○特別活動の充実 ・自己実現能力の涵養と豊かな実践力	☆保健、安全、給食との関連を十分図り、計画的、継続的な体力づくりを進める ☆キャリア教育の充実	④・3・2・1
○体力・運動能力の向上 ・生涯スポーツ、競技スポーツを目指す体育の生活化	☆多種多様なスポーツ活動の実践 ☆中学校総合体育大会参加の支援	④・3・2・1
○学校保健、安全の充実 ・日常的な保健安全活動、事故の絶無	☆学校、家庭、地域の連携を密にして、自他の生命尊重を基にして、指導の徹底を期する	④・3・2・1
○学校給食の充実 ・おいしく、楽しい給食を提供	☆給食費を支援する ☆食材の放射能検査を徹底する ☆物資の安定供給及び施設整備に努める ☆家庭と地域の連携を図り、食生活の改善と健康管理に努める ☆給食委員会の実施（月1回） ☆学校、家庭、地域の連携で食育を推進 ☆地場産品導入の検討	④・3・2・1

○教育機会の確保 ・低所得者への支援	☆川内村育英奨学資金の貸付 ☆各種就学支援の実施	④・③・②・①
総 合 評 価		4・③・②・①
成果と課題	○教育課程 小中学校の教育目標及び重点目標の具現を目指し、各領域においてそれぞれの実態を踏まえた具体目標、実践事項を設定した教育課程を編成し実践した。 ○学力向上 英語教育にあってはALTを配置し、中学校だけではなく、小学校・保育園を巡回し、実態にあった指導を計画的に取り組んでいる。また、小学生への英語の授業が導入されており、これらの面も考慮しながら英語力を上達させ、今後のグローバル社会で生かせる教育を担えるよう取り組んでいる。 ○体力、運動能力向上 少人数ながらも小中学校ともに特設陸上部等をおき、積極的な活動を継続的に行っている。また、部活動においては、外部講師を呼び指導を受けるなど、技術の向上にもつなげている。 ○学校保健、安全の充実 インフルエンザの流行時には、教委・学校・保育園・保健福祉部門の4者間で連絡を密にし、流行状況を見ながら状況に応じた迅速な対策を講じている。 特に、新型コロナウイルス感染症の世界的な発症により、全国一斉に発せられた「学校休業」措置により、令和2年3月には小中学校を臨時休業し、児童生徒の安全確保に努めた。さらに休業期間中においても教員による児童生徒への学習指導や健康面を踏まえた日常生活等の指導を行った。 また、小中学校・保育園では、保健だより等により家庭における予防・対応等を喚起しながら、子どもや保護者の予防意識向上・健康維持にも努めることができた。 ○学校給食 震災後、放射性物質の検査は県内外すべてを行ってきたが、5年間の検査結果に問題がなかったため、平成28年度より福島県産のみの実施となっている。また、毎月1回栄養教諭との給食委員会を開催し、成長の度合いに応じた給食内容や季節にあった給食メニューなどを取り入れ、食育の推進を積極的に行っている。 ○ICT環境の充実 学校でのICT環境としては、従来より電子黒板やタブレットの導入を進めているが、国が進めるGIGAスクール構想に基づくICT環境整備により、校舎内Wi-Fi通信整備及びパソコン・タブレット等の機器導入を検討し、学校教育に適した機材等の導入を図れるよう取り組んだ。 一方で、携帯電話やタブレットの利用においては、ルールを守った使い方等を推進すべく学校での指導や家庭との連携により、適切な使用について指導していく必要がある。	4

【3- (2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業
3. 学校教育の充実		(2) 変化に対応した教育の充実
点 検 ・ 評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
○教育環境の変化に対応する学校教育体制を検討	☆学校、地域、家庭の代表者による教育環境整備推進委員会の設置 ☆指導主事の配置	④・3・2・1
○小中一貫教育の導入	☆小中学校を統合した義務教育学校の設置	4・③・2・1
○コミュニティ・スクールの導入	☆学校運営協議会設置	4・③・2・1
○グローバル人材育成	☆海外研修交流事業実施	4・3・②・1
○研修機会の充実	☆県、県教育センターへの計画的参加推進 ☆村教育研究会の再開と実践的活動を推進	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	福島県教育センターでの研修への参加を積極的に進めており、教職員の知識や指導力の向上につなげている。 川内村教育研究会活動を29年度より再開し、小中一貫教育に関する学習会を実施した。 小中学校を統合した義務教育学校の開校のため、ハード面での学校校舎の新築改修工事に取り組む。 また、ソフト面では学校運営協議会を設置し、学校運営に関する地域識見者等との意見交換や子どもたちの在るべき姿を見出すべき協働の精神により、より良い学校運営となるよう取り組みを行った。	3

【3- (3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業
3. 学校教育の充実		(3) 児童、生徒指導の充実
点 検 ・ 評 価 項 目	具 体 的 実 践 事 項	評 価
○児童、生徒指導体制の充実 ・全職員の共通理解に基づく生徒理解と共通実践 ・生徒一人ひとりの生徒の心情理解と自己実現への援助	☆各学校生徒指導に係る実践的活動の推進 ☆教育相談体制の確立 ☆教員間で、児童生徒個々観察情報の共有	④・3・2・1
○家庭、地域社会、関係機関との連携強化 ・家庭・地域社会・関係機関と連携しての健全育成	☆緊密な連絡体制・相談体制の構築 保健たより	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	児童生徒数が少ないことから、個々に応じた指導が進められている。 家庭に対し学校活動などの情報を提供するため「学校、保健便り」等を定期的に発行している。また、児童生徒の成長過程に応じ、村保健福祉部門や福島県支援機関等との意見・情報交換を行うなど、保護者への児童生徒個々の状況を踏まえた対応を図る。今後は、更なる個々の状況に応じた内容の充実を図る必要がある。	3

重点施策名		事務事業	
3. 学校教育の充実		(4) 教職員の確保と資質の向上	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
○教職員の確保 ・学校の実態に応じた適正な配置	☆県教育委員会との連携 ☆復興推進加配要請	④・3・2・1	
○教職員の研修の充実 ・研修のねらい、内容の明確化による 資質の向上	☆村教育研究会の再開 ☆研修支援	4・③・2・1	
○教職員の働き方改革 ・在校時間管理の適正化 ・校務の見直し ・地域等外部からの支援要請	☆時間外勤務は1月平均で60時間以下 ☆週1回は定時退校日を設定 ☆長期休業日に空直日及び閉庁日を設定 ☆会議、行事等の精選、見直し ☆ICT機器の活用 ☆小中連携による教職員交流 ☆外部講師活用による校務の効率化推進	4・③・2・1	
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	県教育委員会との連携のもと適正な教職員の数が確保できるよう取り組んでいる。復興推進加配の配置もあり、本来であれば複式学級の編成であるが、単式学級で学ぶことができ、個々の状況に応じた指導ができています。 教職員への研修状況については、小中学校との連携を図り、指導力や知識を広めるため、各種研修会への参加を促している。 教職員の働き方改革を進めるため、時間外勤務の状況や週一回のノー残業ディ設定などの取組みを進めている。		3

重点施策名		事務事業	
3. 学校教育の充実		(5) 養護教育の充実	
点検・評価項目	具体的実践事項	評価	
○適正な就学指導と学習指導を推進 ○障がいに応じた指導計画、方法を確立	☆地域社会の理解を得られるよう努める ☆指導の個別化を図り、教材教具の活用を工夫する	4・③・2・1	
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	学校と地域協働本部推進員との連携により、児童生徒に対し田植え体験や職場体験などと地域の人から技術を学ぶ機会を設け、地域社会への理解を深めている。 また、村の行事であるマラソン大会においては、選手として参加したほか、ボランティア員としても活動し、村の宣伝活動の一助を担うことができた。 特別支援学級に該当する児童・生徒は在籍していないが、経過観察を必要とする児童・生徒のために、村独自の特別支援員の配置を図り、主に学習支援面における個々に応じた指導を進められた。		3

【4- (1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4. 生涯学習の推進		(1) 生涯学習推進体制の充実	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○生涯学習推進本部の再生		☆生涯学習の推進	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	震災及び原子力災害後においては、生涯学習推進のための各種会議を開催しておらず、生涯学習面での事業内容の充実が図られておりません。 少人数ではありますが、各種教室が再開されている状況もあり、今後の課題としては、より内容の充実を図るための推進体制を整えるべく、人材育成に努めなければならない。		2

【4- (2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4. 生涯学習の推進		(2) 生涯学習の普及啓発	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○村民への広報		☆広報紙の活用	4・③・2・1
○村民意識の ^{どうよう} 昂揚		☆講座実施	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	震災前は生涯学習推進会議を開催し、生涯学習の充実を図り魅力ある生涯学習に努めていた。現在は、村広報誌やパンフット等を作成して広報啓発を強化し、震災前の講座復活に努めていますが、指導人材や参加人員の確保が出来ず苦慮している状況です。今後は、村の現状に応じた各種教室等の実施を検討し開催に向け努力しなければならない。		2

【4- (3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
4. 生涯学習の推進		(3) 生涯学習機会の拡充	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○各種講座の復活		☆各種講座再開	4・3・②・1
○学習、体験等の指導者育成		☆小さな名人の掘り起こし	4・3・2・①
○情報通信の整備		☆ICTを活用した生涯学習の構築	4・3・2・①
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	各種講座の開催については、催し内容や開催時期、参加人数を増やすための方法や検討が十分に出来ていなかった。		
	さらに各種催しの実施にあたっては、外部指導者・講師に依存する状況となっており、村内での育成が図られていない状況である。		
	ICTを活用した学習会等についても実施できていない状況となっている。		
	今後、双葉郡の復興再生を踏まえ、町村間連携による各種講座やイベント等の開催を検討すべきところである。		

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(1) 社会教育活動の充実	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○青少年教育の充実 ・ 青少年学習機会の充実 ・ 健全育成の推進 ・ 学校、地域社会の連携強化		☆村民会議の再開 ☆放課後子ども教室への援助 ☆子ども会活動への支援 ☆地域の子どもの教室推進事業の実施 ☆世代間交流事業の実施	4・③・2・1
○成人教育の充実 ・ 村民の必要課題に応じた教室の開催		☆学習講座の開催	4・3・2・①
○女性教育の充実 ・ 学習内容、方法の工夫 ・ 学習体制の充実		☆各種研究会への参加奨励 ☆婦人会活動の援助 ☆社会参加活動の促進 ☆支部学級の推進 ☆女性セミナー	4・3・②・1
○高齢者教育の充実 ・ 学習体制の充実		☆学習講座の開設 ☆指導者研修会への参加奨励 ☆体験活動、ボランティア活動に伴う人材登録者活用	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	社会教育活動の充実を図るべく各種実践事項を掲げ進めてきましたが、参加者が少なく限られた催しの開催に留まるなどと掲げた催しの開催が出来ていない状況でありました。		
	主に実施することができた事業としては、学校・地域社会の連携強化を図るための地域学校協働本部運営委員会や義務教育学校内に整備する地域コミュニティスペースの充実を図るための先進地研修事業などがあります。		
	また、放課後子ども教室の運営充実や婦人会活動への援助も行うことができました。村婦人会による活動は、村の催事等への協力に欠かせない組織体となっていますが、組織を支える人材確保が懸念されるところである。		
	女性教育と高齢者教室は、合同での中央学級として開催してきたが、実施内容の充実が難しく、まずは県主催の各種研修会や勉強会に積極的に参加していきたい。		
	青少年教室や成人教育については、対象年代での参加も少なく実施することができなかった。		
	2		

【5- (2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(2) 社会教育推進体制の充実	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○社会教育関係職員の確保と資質向上 ・社会教育体制の充実		☆社会教育委員会の活動の充実	4・3・②・1
○民間有志指導者の活用 ・指導者の発掘、活用		☆指導者研修会への参加奨励 ☆生活文化技術の指導者発掘、活用	4・3・2・①
○社会教育関係団体の育成 ・青少年団体、婦人団体、PTA 等組織的活動の充実		☆社会参加活動の促進 ☆体験活動、ランティア活動に伴う人材登録の活用	4・3・②・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	○社会教育体制の充実 郡連絡協議会や県の研究大会へ積極的に参加した。また、村の各種事業への参加も行っている。 ○指導者の発掘、活用 村内在住者における指導者の発掘・活用ができておらず、今後も指導者の発掘・活用は大きな課題事項である。 ○社会教育関係団体の育成 青少年団体の活動としては、スポーツ振興の兼合いを含め、スポーツ少年団による活動の場が増え、合わせて指導者の活動も増えつつある状況である。 婦人組織は、天山祭りを始め、合同運動会、敬老会など村の事業に積極的に参加ができています。保育園・小中学校の連合PTA等の組織も平成29年度に設立し活動を始めている。		3

【5- (3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(3) 社会教育施設の整備	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○図書室の整備・充実 ・図書室利用の拡大		☆新刊図書の購入 ☆閲覧コーナーの整備	4・3・②・1
○コミュニティセンター等施設の利用 ・施設利活用の促進		☆施設の整備、改修 ☆閲覧コーナーの整備	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	○コミュニティセンター内に常設している図書室の利用者を増やすため、図書の購入や図書室への入りやすい雰囲気作りを行った。 ○小学校の司書教諭先生のボランティアによる本棚の整理を行った。 ○イベント情報や公民館事業を周知するためのチラシ作成や展示を行うなど、村内外への情報伝達に取組んだ。 ○コミュニティセンターの各室での活動を行い易くするための施設管理に努めた。 ○限られたスペースへの遊具設置や幼児・児童図書を充実させ、来場する子育て世帯などの利用者を増やす施策を施した。		3

【5－（４）】

重点施策名		事務事業	
5. 社会教育の推進と健全な青少年の育成		(4) 家庭教育の充実	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○学習機会の拡充		☆子どもの発達に応じた講座の開催	4・③・2・1
○地域での啓発活動の推進		☆家庭学習習慣の確立	
		☆地域単位での講座	
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	放課後の家庭学習支援の一環として、放課後子ども教室を開催し、家庭教育の面での支援を行っている。更に学力向上の場として村直営による学習塾を継続的に開催している。又、子供の成長期における音楽的な感性を養う場の講座として「ピアノ教室」を開催している。		3

【6－（１）】

重点施策名		事務事業	
6. 芸術文化活動の推進		(1) 芸術文化活動の促進	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○芸術文化活動の充実 ・芸術文化活動への援助 ・芸術文化活動の展開		☆芸術文化活動への助成 ☆天山祭りの開催	4・③・2・1
○芸術鑑賞会の確保 ・芸術文化活動の展開		☆各種コンサートの開催 ☆各種芸能鑑賞会の開催 ☆芸術文化推進団体等の育成、推進	4・3・②・1
総合評価			4・3・2・1
成果と課題	○震災後9年目となり、芸術文化推進団体の中にも、休止状態が継続されたままの団体もあり、今後の再開が課題となっている。また、村の現況を踏まえた場合、芸術文化推進団体の在り方も、再検討していかなければならない。 ○よさこい・カラオケ・フラダンス・大正琴・太極拳などの活動が再開してきていますが、参加者の増員については難しい状況となっている。		3

【6－（２）】

重点施策名		事務事業	
6. 芸術文化活動の推進		(2) 郷土芸能、文化伝承活動の推進	
点検・評価項目		具体的実践事項	評価
○郷土芸能、文化財保存継承 ^{けいしゅう} ・保存継承の推進		☆保存伝承費助成 ☆文化財防火訓練 ☆平伏沼管理員配置	4・③・2・1
○文化財啓蒙 ・文化財理解		☆文化財めぐり	4・3・②・1

総 合 評 価		4・3・2・1
成果と課題	文化財の保存や継承については、無形民俗芸能をはじめとした後継者不足や指導者の高齢化による保存継承が難しい状況となってきたが、継承団体との連携を図り、衣装や用具等の更新費用への補助を行ってきており、三匹獅子舞(4団体)等の奉納を例大祭等で披露し継承に繋げている。 文化財保護の観点から地区住民や消防団の協力を得て、防火保護活動を推進しており、令和元年度においては、下川内地内の地蔵院において防火訓練を実施した。 モリアオガエルの産卵期には、平伏沼に管理員を常駐させて管理に努めた。 今後は、村民等に対し、村内の文化財等の理解を深めるための活動を進めていきたい。	3

【7- (1)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
7. 地域・家庭等連携			
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○地域連携 ・地域学校協働本部の設置 ・環境づくり ・青少年激励 ・公民館等事業周知 ・読書推進		☆地域コーディネーター配置 ☆花いっぱい運動 ☆区域外就学児童生徒との交流会開催 ☆成人式の開催 ☆広報媒体活用 ☆絵本読み聞かせ ☆移動図書館の活用	4・③・2・1
○家庭等連携 ・子育て学習 ・SNS 被害防止指導		☆思春期の子どもを持つ親の学習 ☆新入学児童の保護者の学習 ☆連合PTAによるアウトメディア宣言	4・3・②・1
○男女共同参画社会 ・地域社会への啓発		☆アドバイザー研修参加	4・3・2・①
○体験活動・ボランティア活動支援 ・推進体制の充実		☆コーディネーターと各学校の連携	4・③・2・1
総 合 評 価		4・3・2・1	
成果と課題	○地域連携 公民館事業として、地域と学校が連携する環境づくりのために老人会、婦人会、保育園、小中学校の協力を得て、地域等への「花いっぱい運動」を展開した。 村内の成人者を招待し、コミュニティセンターにおいて成人式を開催し、関係者を交えた宴席を設け、祝賀会を行っている。 公民館事業の周知方法として、村広報紙、防災行政無線、公民館内広報掲示スペース等を活用し幅広く事業内容を周知している。 図書の充実を図るために移動図書館などから図書を年間2回、年間800冊程度の図書を借用し内容の充実を努めている。 地域内連携、子どもから高齢者までの連携を図り、社会環境の充実を目指しているが、住民の帰還率は8割程度にとどまっており、帰村者促進のため、今後も粘り強く取組んでいくことが重要となっている。 ○家庭等連携 教育委員会が主体的実施できた催しはなかった。 ○男女共同参画社会 関係機関での会議や集会への参加も出来なかった。 ○体験活動、ボランティア活動支援 学校への支援地域本部を設置し、小中学校での「ふるさと創造学」に係る地域連携コーディネーターを配置し、活動への支援を行った。	3	

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8. 生涯スポーツの推進		(1) スポーツの振興	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○組織の強化 ・ 組織、運営の充実 ・ スポーツ少年団の育成		☆体育協会への助成 ☆活動助成 ☆民間有志指導者の発掘と活用	4・③・2・1
○生涯スポーツ推進 ・ 村民皆スポーツの推進 ・ スポーツクラブの検討		☆各種大会開催 ☆啓発活動 ☆組織化の検討	4・3・②・1
○競技スポーツ振興 ・ スポーツの振興 ・ スポーツ団体の育成		☆各種大会参加 ☆川内の郷かえるマラソン大会の継続開催 ☆支援体制の充実 ☆体育指導員の養成、確保	④・3・2・1
○施設の整備 ・ 体育施設の整備 ・ 体育施設の利用促進		☆既存施設の維持管理 ☆体育施設の宣伝と利用案内の周知	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	○組織の強化 体育協会組織のもとで各種団体が様々な大会に積極的に参加しており、活動団体数は減少しているものの助成金を交付し活動強化に努めた。 スポーツ少年団は、平成29年度より川内野球スポーツ少年団が再開し、週3日程度の練習や各種大会への出場も徐々に増えている。また、はやぶさスポーツ少年団の活動再開に向け指導者等からの相談がきている。		
	○生涯スポーツ推進 ソフトバレー教室、グラウンドゴルフ教室、太極拳教室等は再開しており、その他の教室についても再開に向け取組みを進めたい。 ○スポーツ振興 競技者が少ない中でも、体育協会を中心に野球、ソフトボール、ソフトテニス、ソフトバレー、グラウンドゴルフ等の各種大会に積極的に参加している。 村内では、競技者人口が少ないため、新たな種目の取組みが難しい状況となっている。 H28年度からは、川内の郷かえるマラソン大会を開催しており、地域おこしのイベントとしても取組まれている。さらに、室内型温水プール(もりたろうプール)を開設したことから、年間を通したプール活動が可能となっており、村民の健康増進に寄与するとともに、プール事業を通した各種大会への施設活用や水泳競技へのスポーツ振興を図り、合わせて指導者の確保や養成に努めていきたい。		

【8- (2)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8. 生涯スポーツの推進		(2) 健康づくりの推進	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○健康づくり普及		☆健康スポーツ教室	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	健康づくり推進事業として、2月に「健康づくりソフトバレーボール大会を開催し、10チームの約70名の参加があった。 また、室内型温水プール(もりたろうプール)での村民に対する健康づくり教室に取り組んだ。 村には、限られた施設しかなく、村民が多種のスポーツを楽しむための施設整備は図られていないが、限られた施設を活用しながらも、村民の年代に応じた健康増進につながる屋内外のスポーツやファミリースポーツなどの活動充実に取り組んでいきたい。		3

【8- (3)】

重 点 施 策 名		事 務 事 業	
8. 生涯スポーツの推進		(3) 小中学校特設スポーツクラブの育成、振興	
点 検 ・ 評 価 項 目		具 体 的 実 践 事 項	評 価
○小中学校特設スポーツクラブ充実		☆活動助成 ☆民間指導者の発掘と活用	4・③・2・1
総 合 評 価			4・3・2・1
成果と課題	特設スポーツクラブの実施にあたっては、指導者の発掘や活動内容の充実を図り、学校との連携を図りながら特設スポーツクラブの育成充実に努めたい。		3